レッスン：SPA　NO.84

テーマ：スパークと影

SPA84/KE2001/N.4

私の姉妹・兄弟たちよ、

スピリット・火・光の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

以前のレッスンで創造の諸世界の全ての原因として、絶対存在、神について述べました。それら創造の諸世界は神の聖なる黙想の活動以外の何ものでもありません。言い換えれば、原因は絶対存在であり、何であれ今創造界にあるもの全ては、絶対存在がどのように黙想するかに依っています。絶対存在の黙想はたくさんあるのでしょうか？それは一つであり、同じ一つの黙想がずーと続いています。私たちはいかにしてそれを正当化できるでしょうか？

それによって神の黙想の仕事が達成されるように、全ての人間は同じ手順を経る必要がある、ということがそれを正当化しています。知られていることは、神の黙想の動きの中に入る「生」の全てのスパークは、一定の順序、手順を経なければならない、ということです。

絶対存在の多重性からの「生」のスパークの最初の現れは、それ自身を「魂のセルフ・エピグノシス」として表現します。無数の魂のエピグノシスがあります。そしてそれら一つ一つはそれ自身から微細なパーツを実存の諸世界（私たちが知っているこれらの世界のことです）にスパークします。

実存の諸世界でそれ自身を現しているこの「生」のスパークは、神の仕事が達成されるために一定の手順を経なければならないのです。最初、このスパークはその本質を表現することを止める必要があります；しかし実際にそうなのでしょうか？その本質を現すのを停止するのはスパーク、「生それ自体」からのスパークですが、魂のセルフ・エピグノシス全体がそうなのではありません；そして勿論「生」としての魂のセルフ・エピグノシスについても同じことが言えます。スピリット・セルフとしての再内奥のセルフからの微細なスパークは輝きます。

さて、実存の諸世界におけるこの微細なスパークに戻ります。神の聖なるスパークはいかにして届く、達成されるのでしょうか？私たちはこのスパークの現れを、影として有しています。ですから、この世界で現れるもの全ては「生」のスパークの影なのです。そのスパークの役割は何でしょうか？それはこの影を活性化することです。そして現在のパーソナリティーがありますが、それはその真の本質を表現せず、（＊真の姿とは関係ない）状態を現しています。それはスパークによって活性化されていますが、その現れではありません。

現在のパーソナリティーの現れは、現れの制限のなかにいます。それは限界のなかにいます。しかしスパークは決して現れの限界に入ったことはありません。スパークは神それ自身、「生」それ自身からの微細な部分です。ですから全ての人間のなかで、「生」は同じ「生の海」のなかにあります。それゆえに、主は創造界における全ての人間、人間だけでなくあらゆるものを照らす光である、と言えるのです。

あるレッスンで、素質的可能性のいろいろなサイクルは「生それ自体」から与えられている、と言いました。それは天上人から与えられていることですが、それはまた創造界の元型、つまり最小から最大にいたるまで創造界におけるフォームを与えています。しかし、もし主、「生それ自体」が全ての人の内側にあるなら、つまり全ての人のなかに創造の元型、創造界のセル、あるいは「生命の木」があることになります。それは全ての人間、私たち一人一人を生かしているスパークのなかにあります。また人間のイデアに関して、これら全てのサイクルは創造界の元型の中に、そして他のサイクルのなかにあると述べました。もし私たち一人一人のなかにこの元型があるなら、それはつまり私たちは人間のイデアのみならず全てのアークエンジェルのオーダーに関しても、全てのサイクルを有していることになります。

Page2

以前のレッスンでまた、現在のパーソナリティーはこれら様々なサイクルを経なければならない、と言いました。そして現在のパーソナリティーの大きなサイクルのなかに５つのサイクルがあると言いました。それらのサイクルは「法則それ自体」によって与えられています。ですから、前に述べたように法則それ自体は全ての人のなかにあります；そしてこのサイクルをマスターすると言うとき、それはそれらの素質的サイクルを表現するようなレベルにまで自分の現れをもっていくということです。それらは私たちの内側にあり、それは私達の内側にある「生のスパーク」の本質のなかにあるのです。

それら素質的可能性のサイクルのなかにある、私たちが助けと呼んでいるシンボルを使って私たちは一体どうするのでしょうか？あなた方の理解に応じて、あなた方の能力に応じてそれらの助けを築く、と言われましたね。またエーテルの様々な特質を使って、どのようにするのでしょうか？

ですから、エーテルの特質を使用するあなたの能力、および理解に従って四面ピラミッドを築きます。同じ事が三面ピラミッド、五面ピラミッド、その他、さらに部屋についても言えます。実際、各サイクルはそれらの助けをあるべき仕方に従ってあなた方各人に与えています。あなたのすべき努力とは、それらの元型にマッチするように築くことです；なぜなら、それらは元型だからです。そしてあなたが築くものはサイクルが提供しているオリジナルとマッチすべきです。それがそれらに対するマスターのレベルを決めます。このプロセスはどんどん進んでいくものであり、つまりどんどんサイコノエティカルに進化していきます。

さて無知のステートにいる間、現在のパーソナリティーは自分を現すために五感を使っていると言いました。その感覚は実際感情、気持ちの体であるサイキカル体とつながっています。しかしサイキカル体がそこにあり、存在するためにはノエティアカル体とつながっている必要があります。私達はノエティカル体なしでサイキカル体だけを持つことはできません。そしてノエティカル体は思考のセンターです。

ですから私たちには気持ちと思考があります。そしてそれら２つの体は感覚を使っています…私たちが知っている五感または真の感覚を。真の感覚？それでは私たちが現在使っているのは真の感覚ではないのでしょうか？違います。実際私たちが使っているのは「生」の影が使っているものであり、影がその本質に近づけば近づくほど、現在のパーソナリティーの現れにおいて真の感覚がより多く使用されるようになります。しかし、全ての感覚、いわゆる超感覚（それは真の感覚ですが）も、影がそれを使うためにあります。「影」の原因であるものは感覚を使用せず、ここで言う原因とは「スパーク」のことであり、スパークは影を活性化し、生かしています。スパークが影の原因であり、影を生かしめています。そして「スパーク」はもはや感覚を必要としません。

**今、私達には性別があるでしょうか？実際にはありません。**（＊この後に続く説明のために太字にしました）しかし、この「生のスパーク」は現れのための手段を必要とします。それはマインドです。自己実現した現在のパーソナリティーは実存の諸世界に留まり、さらには転生のサイクルにも留まります。ですから、そのパーソナリティーは形に境界のない体、スーパーサブスタンスの体を使います。そしてスーパーサブスタンスは大きな海であり、そこには他の全てのバイブレーションがあります。それらのマインドのバイブレーションが全ての諸宇宙を抱いています。そして勿論、それが存在するためには、「生の海」が必要であり、それがマインドを活性化します。それについては過去のレッスンで既に話しましたね。

Page3

ですから、自己実現した現在のパーソナリティーには形に境界はありませんが、形とはイデア、イデアのフォームです。そしてイデア・フォームは天上人のフォームと同一です。そしてそれはまた誰ものフォームとも同一です。しかし、今自己実現した現在のパーソナリティーは、それらのバイブレーションに留まるという聖なる必要性がある時にのみそれらのバイブレーションを使います。さもないと、それらのバイブレーションには留まりません。なぜなら、他の同胞の人間を助けるという目的にたいして役立たないからです。そして勿論、それらのレベルの現れに到達した人にとって。唯一の“関心事”は助けること、助けを必要とする全ての同胞を抱きしめることです。ですから、自己実現した現在のパーソナリティーはそれらのバイブレーションのステートに長く留まることはせず、助けるために必要に応じて現れのバイブレーションを低下させます。そして普通の人間として転生してきます…他の人間たちと同じようなニーズさえも持つ人間として。

さて、神が必要とするような場合には、自己実現した現在のパーソナリティーはスーパーサブスタンスのバイブレーションのなかに留まる、と述べました。そのような神のニーズとは何でしょうか、神、ディバインは何を考えているのでしょうか？同胞の人間達はいつそのような助けを必要としているでしょうか？彼らが地球の重力内にいない時、人間が宇宙船に乗っていて地球の重力圏を離れている時、そのような時に不可視のヘルパーとして人間を助けることができる唯一の方法は、実在するあなたの体としてマインドのそれらのバイブレーションを使うことです。なぜならば、確かにあなたは実在しているからです。それでは何が生じるのでしょうか？あなたは同化します。肉体ではありません、勿論そうしたければ肉体を非物質化することもできますが、そうはしません。あなたはサイキカル体および低次ノエティカル体を同化します。つまり、スーパーサブスタンスのバイブレーションのなかでそれら２つの体を１つに同化します。前に、スーパーサブスタンスのなかには他の全てのバイブレーションがあると述べましたね；ですから、今、あなたはそうするのです。今あなたはそれら２つの体を同化させ、スーパーサブスタンスを使用することによって、創造界のあらゆる天体をつないでいるその海の中を遊泳することができるのです。それはあらゆる太陽系、あらゆる銀河系をつないでいます。それらすべてはスーパーサブスタンスという大きな海のなかで泳いでいます。しかし、サブスタンスではありません、なぜならサブスタンスはそれらの天体を１つにつないでいないからです。

ですから、地球の重力圏の外にいる人間を不可視のヘルパーが助ける場合には、その時、ヘルパーはそのような仕事をしなければならないのです。この種の仕事をする人間には、この地球とつながりのある不可視のヘルパーが付き添っています。そして肉体を背後に残してきた人によって。

何故でしょうか？肉体に転生しないで、実存の他のバイブレーション、つまりサイコノエティカル界に留まっている不可視のヘルパー達は存在しないのでしょうか？答えはイエスです。そこにはたくさんの不可視のヘルパーたちがいます。不可視のヘルパーとしてそこで助けている多くの天使達がいます。あるレッスンで述べたように、転生のサイクルの中にいる自己実現した現在のパーソナリティーで、しかもその時に肉体を持っている人はそのような場合には最も必要とされている人です。なぜなら、そのような人は他の同胞の人間たちが原因・結果の法則によって生じているものを、代わりに背負うことができるからです。そして彼らの重荷を軽くすることができ、また許される場合には神の恩寵の手として行動することができるのです。

ですから、これが不可視のヘルパーの仕事です。惑星の重力の外にいる人間を助けます。彼らはまだ転生のサイクルの中にいますが、性別は背後に残しています。しかし、不可視のヘルパーの助けを必要とする他の人間達については、必ずしもそうではありません。その場合には必ずしもそうである必要はありません。なぜなら、この次元に、この重力内にいる不可視のヘルパーはサイコノエティカル体でＯＫであり、エーテル体でも大丈夫だからです。

さて、もし誰かが「不可視のヘルパーは肉体のなかにいる時でも、現れのためにそのようなバイブレーションを使用できるのか？」と質問したとしたら、答えはどうだと思いますか？答えはイエスです。なぜイエスなのでしょうか？それは過去に私たちが話した「生の本質」（それは勿論多重性の本質ですが）の故にでしょうか？どう思いますか？それは前に述べた多重性の結果なのでしょうか？どう思いますか？ある程度まではイエスです。

Page4

しかし、もし意識がスーパーサブスタンスの使用を通じて表現される場合、それはいかなる手段も使用しないことを意味します。つまりそこには意味、二元性は生じないということです。それは時間・空間の意味を越えています。あなたが身体を去って、もう一つの体を使う時、時間を計測することができるでしょうか？答えはノーです。あまりにも素早く行われるので、距離その他に関係なく、あなたはここにいて、同時に他の体にいます。

ですから、あなたはここにいて、同時に高次ノエティカル体を使うことができます；今サイキカル体ではなくて高次ノエティカル体について話しています。高次ノエティカル体を使いながら、同時に肉体のなかにいることができるのです…他の人たちと同じように機能しながら。

サイコノエティカル体を使うエクソマトシス（＊意識的幽体離脱）のステートの間でも、これは起きることが可能でしょうか？超感覚を使うサイコノエティカル体のなかで、一般の五感、思考を使う、つまり時間という意味のなかにいることができるでしょうか？ノーです。空間は？ノーです。しかし時間・空間に関しては、あなたは他人の意味のなかに入っていきます；そして他人を助けるためには、あなた自身もまたそれらの意味を経験する必要があります。“どれだけ速く移動するか”は全く別問題です。あなたにとって境界はありません。しかし、話を元に戻しますが、サイコノエティカル体に関して、不可視のヘルパーとしてこの実存のステートで助ける場合、普通の意識を伴って肉体を持ちながらそれができるでしょうか？高次ノエティカル体について述べた時のように？それは可能でしょうか？答えはイエスです。

しかし、それは実践されるのでしょうか？答えはノーです。なぜなら、このバイブレーションのなかではいくらかの危険があるからです。もし多重性の本質のなかにある「生」の能力を使うなら、あなたは肉体を抜け出す必要があり、多重性の能力がサイコノエティカル体から表現されます。そしてサイコノエティカル体は多くの場所で助けることができます…数年前のレッスンで話したように。

しかし、肉体のなかで意識を保ちながらプロジェクションをするのはさらに実際的です。何をプロジェクションすると思いますか？私たちは助けるためにエレメンタルを投射します。あるいは私たちのエーテルの手を投射するなら、その投射、プロジェクションはあらゆる感覚を現すことができます。言い換えれば、その投射はあらゆる方向から見たり、聞いたりその他をすることができるのです。

それではもし私たちがある仕事をする場合、エーテルを投射して行うことができるでしょうか？どう思いますか？例えば、離れた所から何かを動かすことができるでしょうか？どう思いますか？それは場合によりけりです。答えはイエスでもノーでもありません。場合によります。しかし、出来事の進化に貢献したければどうすべきかと言うと、エクソマトシスという現象を通じてサイコノエティカル体を使うことです。

ですから、私たちには感覚があり、それは感情と思考につながっています。そしてそれらはサイキカルおよびノエティカルの２つの体です。高次ノエティカル体は感覚を使わずに同調(attunement)を使います。そして思考を現すことはなく、ブレーシスと神の黙想を現します。瞑想ではなく神の聖なる黙想です。高次ノエティカル体は黙想をし、瞑想はしません。そしてブレーシスを現します。実際、ブレーシスとは神の意志と同じです。

ですから、私たち各人の中に、スパークのなかにある素質的可能性のサイクルに戻ってきました。それはスパークによって私達に提供されているものであり、スパークが私たちの現れを生かしています。私たちのすべき努力とは、サイクルが提供している本当のものと同一のものを築くことです。そうすることによって、徐々に少しずつ２つの小さなエゴがスパークに近づいていきます。大文字のエゴ(Ego)、つまりスパークそれ自身に近づいていくのです。

Page5

さて、前回のレッスンで述べたように、たくさんのエクササイズを使います。それは現在のパーソナリティーを大いに助け、サイクルが提供するオリジナルの助けにできるだけ近いもの、マッチするものを築く助けとなります。

ですからエクササイズです。とりわけ、エーテルの特質をマスターする助けとなるエクササイズです。私たちはエクササイズを２つのカテゴリーに分けます。１つはエーテルの特質をマスターするためのもの、そして素質的可能性のサイクルそれ自体によって提供されるエクササイズです。２つのカテゴリーがありますが、あなた方にとって最も重要なのは、最初のカテゴリーです。なぜなら、最初のそれなしでは２番目に進むことはできないからです。

Ｑ：本物と同じものとして、それらの特質をマスターしようとしていることを、どうやって知ることができるのですか？

Ｋ：エーテルの特質、それは勿論、例えば運動エーテル、感覚エーテルなどをどの程度感じるか、あるいは使うことができるかですが、それは勿論その人の気づきのレベルによります。しかし、それをマスターすること、その意味は、何であれあなたが見るものを、まるで目を開いて肉体の目で見ているのと同じように視覚化できることです。片方の手でもう一つの手に触れる時に感じるように、感覚エーテルを使って全く同じように感じるのです。勿論、徐々に少しづつ真の感覚を使ってそれらの特質を使うようになります。なぜなら、同時にあなたはエクササイズをして進んでいくに従い、自分の肉体から離れた所へ感覚エーテルを投射することができるようになるでしょう。エーテルをマスターするためにはたくさんのワークが必要であり、簡単なことではありません。そして最も難しいのは刻印エーテルです。目を閉じた状態で見ることができる、何かを視覚化することです。

Ｑ：あなたは自分がどの素質的可能性のサイクルにいるか、どのようにしてわかるのですか？

Ｋ：そうなれば、必ずわかるでしょう。そのためにはたくさんのワークが必要です。何であれあなたが築いたもの、あなたはそれに触れることができ、それを感じ、あらゆる方向からそれを見て抱きしめることができる必要があります。つまり、それをどの角度からも見ることができるようにならねばなりません。

素質的可能性のサイクルは全ての人の内側にあると言いましたね。もし誰かがそのステートに到達し、そのスパークとして自分自身を現しているなら、例えば自己実現した現在のパーソナリティーとして現しているなら、そのサイクルをマスターしたその現在のパーソナリティーは、言い換えれば、サイクルが提供しているものを現している現在のパーソナリティーは（なぜなら、それが本当の意味でそれらをマスターしたということなので）；それらの自己実現した現在のパーソナリティーは、そのサイクルのなかにあるもの全てを詳細に知っているでしょうか？そうあるべきであり、実際にそうなのです。実際、現在のパーソナリティーが「生それ自身のアヴェニュー」（＊生それ自身の大通り）に入る上で助けになる鍵はそれなのです。それらは真の真珠であり、まだ準備の出来ていない人々には与えられません。これこそが真の宝物であり、それはそれを得た人から盗むことが不可能なものです。

レッスン　SPA 84/ エクササイズ1

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白のなかにいて、自分の境界を感じています、そして純白の五芒星のなかで守られているのをイメージします…あなたは今、いつもの見慣れた場所、自分の部屋に立っています…現在のパーソナリティーの部屋にいます…そしていつもの霧のステートに包まれており、そのために周囲がはっきり見えません…例え、周囲を見ることができなくても、とても気持ちよく感じています…何であれそのステートであなたが感じるものを感じます…それは霧が立ちこめているステートです…でもとても快適です、なぜならあなたは自分自身がいる存在のステートにいるからです…

Page6

さて、あなたは今周囲の４つの方向から来るものを体験します。徐々に４つの方向から何らかの色が自分に向かってくるのが見えます…正面からは非常に澄んだ純白に輝く光があなたに向かって来ています…右側からはとても澄んだ輝く赤の光がやってきます…後ろからはホワイトブルーの非常に澄んだ輝く光がやってきます…そして左側からはウルトラ・バイオレットの輝く光がやってきます…それぞれの色はあなたがいる場所（それはあなたの部屋であり、あなたの現れの境界を現しています）全体を包んでいます…

部屋の中には４つの色の光があります、銀色に輝く純白の光、非常にクリアーな赤の輝き、とてもクリアーなホワイトブルーの輝き、そしてウルトラ・バイオレットの光です…それらの光は他の色の光のなかにあっても、色が混じることはありません。

あなたは一度に４つの輝き全てが見えます、あなたは部屋の真ん中に立っています…今、それらの光は部屋の壁から来ていることがわかります…純白の光は正面の壁から発しており、他の光もそれぞれの壁から来ています…赤い光は右側から、ホワイトブルーは背後から、そしてウルトラバイオレットは左側から…今、それぞれの色の光は部屋全体をカバーする代わりに、それは垂直の三角形になっていて、それら全ての三角形の頂点はあなたの背骨に一致し、それら全ての三角形の頂点から共通のラインがあります…実際、それらは水平な三角形です…今、あなたの部屋には４色の光があり、あなたの現在のパーソナリティーに与えるその影響を感じます…あなたが感じるのは、いつも自分は一人ではなく、何らかの実体（勿論、今のあなたにはそれにアプローチすることはできませんが）からサポートされているということです…いつもあなたの側にいるそれらからの助けに自分を開いたままにします…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。終わります。

EREVNA/SPA 84/KE01/N4